# 鉱工業指数 参考図表集 (平成27年6月速報)

# 平成27年7月30日 経済解析室

URL: http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html

### 平成27年6月(速報)各指数の状況

#### 生産・出荷・在庫・在庫率指数

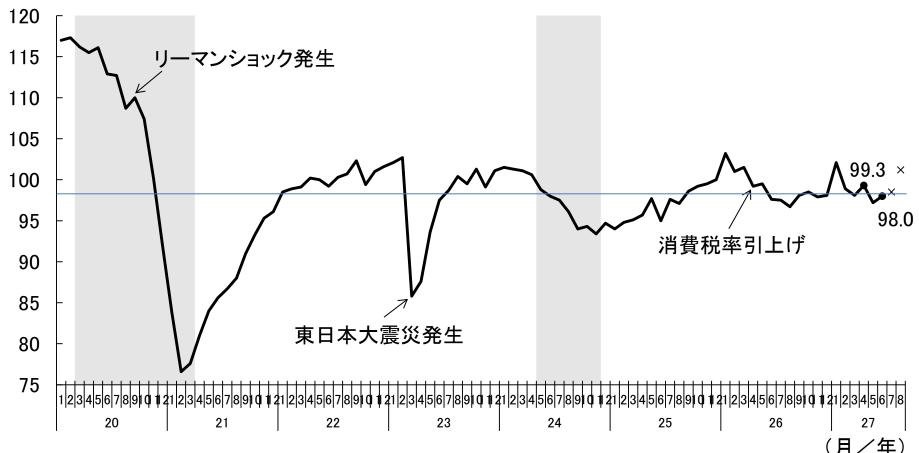
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	98.0	96.3	114.4	113.5
前月比	0.8%	0.3%	1.3%	<b>1</b> .6%
指数水準	H27.4 99.3以来 I H20.2 117.3 II H20.1 117.0 III H20.3 116.2	H27.4 97.9以来 I H20.1,2 118.2 II H20.3 118.1 III H20.5 116.4	H21.2 114.8以来 I H20.12 119.8 II H21.1 119.5 III H20.11 119.1	H27.4 113.2以来 ①H20.2 94.6 ②H20.4 95.9 ③H20.5 97.0
前月比の動き	2か月ぶり+ (H27.4以来)	2か月ぶり+ (H27.4以来)	2か月ぶり+ (H27.4以来)	2か月ぶり▲ (H27.4以来)
前月比幅	H27.4 1.2%以来	H27.4 0.6%以来	H26.6 1.3%以来 (超)H26.5 1.9%以来	H27.1 ▲3.3%以来
	I H23.5 6.8% II H21.4 4.4% III H23.6 4.2%	I H23.6 8.0% II H23.5 5.6% III H27.1 5.5%	I H23.5 4.7% II H24.3 2.5% III H22.12,H23.4 2.3%	①H23.6 ▲11.7% ②H21.6 ▲6.7% ③H21.3 ▲6.0%
前年同月比(原指数)	2.0%	1.5%	3.9%	1.3%
前年同月比の動き	2か月ぶり+ (H27.4以来)	2か月ぶり+ (H27.4以来)	14か月連続+ (H26.5~当月) ・直近で14ヶ月以上連続+ 22か月連続+ (H23.5~H25.2)	14か月連続+ (H26.5~当月) ・直近で14ヶ月以上連続+ 20か月連続+ (H20.3~H21.10)
前年同月比幅	H26.6 3.2%以来	H26.9 1.7%以来	H27.5 3.9%以来 (超)H27.4 6.6%以来	H27.5 6.4%以来
	I H22.3 29.2% II H22.2 28.8% III H22.4 23.8%	I H22.3 28.4% II H22.2 27.0% III H22.4 25.4%	I H24.3, 4 12.1% II H23.8 9.0% III H23.9 8.1%	I H21.2 64.6% II H21.1 54.8% III H21.3 47.9%

- 1) ▲はマイナス
- 2) Ⅰ~Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①~③は最小値から下位3位までの数値
- 3) 【 】内は22年基準以外

### 鉱工業生産指数の動向

- 平成27年6月の生産指数は98.0(前月比0.8%)と2か月ぶりの上昇。
- 平成27年4月の99.3以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



- (注)1. 鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100 として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標。
  - 2. ×は「製造工業生産予測調査」における2か月の前月比の値を鉱工業生産指数にあてはめて計算した予測値。
  - 3. シャドー部分は景気後退局面。24年5月~11月は暫定。

### 鉱工業生産を大きく動かした品目

#### 業種別

		<b>業種・品目名</b>	前月比	寄与率
	1位の業種	輸送機械工業	2.4%	55.0%
	品目	乗用車	4.1%	34.4%
		自動車部品	1.3%	10.6%
○鉱工業生産を上昇方向へ	2位の業種	化学工業(除. 医薬品)	2.8%	31.4%
引っ張った3業種の中で	品目	化粧品	6.3%	
上昇への影響度が大きい2品目	нн 🗆	塗料・印刷インキ	5.3%	4.1%
	3位の業種	プラスチック製品工業	3.6%	20.9%
	品目			
	1位の業種	電子部品・デバイス工業	<b>A</b> 2.1%	<b>A</b> 22.5%
	品目	電子部品 集積回路	<b>▲</b> 5.3% <b>▲</b> 0.7%	<b>▲</b> 27.9% <b>▲</b> 2.9%
│ ○ 鉱工業生産を低下方向へ	 2位の業種	石油・石炭製品工業	<b>▲</b> 5.0%	<b>▲</b> 10.1%
引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい2品目	品目	石油製品 石炭製品	<b>▲</b> 5.1% <b>▲</b> 1.7%	▲ 10.2% ▲ 0.0%
は「、、の必昔及か、人でかって四日	3位の業種	電気機械工業	<u>▲ 1.2%</u>	▲ 10.0%
	品目	開閉制御装置・機器	<b>4</b> .0%	<b>▲</b> 7.0%
		配線•照明用器具	<b>▲</b> 4.7%	▲ 3.1%

寄与率:

生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い 全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる

※ 業種別 全体 内の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した 分類によるもの。

### 全体

		品目名	前月比	寄与率
○ 鉱工業生産を <mark>上昇</mark> 方向	1位	乗用車	4.1%	34.4%
に引っ張った3品目	2位	電子計算機	19.0%	26.1%
	3位	化粧品	6.3%	18.7%
○ 鉱工業生産を低下方向	1位	電子部品	▲ 5.3%	<b>▲</b> 27.9%
に引っ張った3品目	2位	建設用金属製品	<b>1</b> 4.6%	<b>▲</b> 14.9%
	3位	石油製品	▲ 5.1%	<b>▲</b> 10.2%

### 財別(=用途別)

	解説	品目名	前月比	寄与率
		資本財(除. 輸送機械)	1.1%	20.9%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	半導体製造装置	11.5%	18.4%
		ショベル系掘削機械	6.0%	9.5%
	Λ <u>.</u> Γ. Ι.	建設財	1.0%	7.0%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	アルミニウムエクステリア	18.7%	5.4%
	足以及気でいいりがの数間	木造住宅用アルミニウムサッシ	11.1%	3.0%
<del></del>		耐久消費財	1.7%	20.9%
耐久	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	普通乗用車	6.0%	32.5%
消費財	外目で特人でも必要品	デスクトップ型パソコン	36.4%	4.9%
-11- <del>                                     </del>		非耐久消費財	0.6%	10.0%
	非耐久 食料品や衣料品など	モイスチャークリーム	29.8%	8.4%
消費財	<b>水山 C 無人でかる表</b> 面	ファンデーション	17.0%	6.8%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	0.5%	31.6%
		プラスチック製機械器具部品	4.3%	8.0%
		モス型半導体集積回路(メモリ)	4.7%	7.8%

## 平成27年6月 「生産は一進一退」

#### 基調判断の推移

- ・平成25年9月~26年3月 「生産は持ち直しの動き」
- ・平成26年4月~5月 「生産は横ばい傾向」
- ・平成26年6月~8月 「生産は弱含み」
- ・平成26年9月~11月 「生産は一進一退」
- ・平成26年12月~平成27年4月 「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成27年5月~ 「生産は一進一退」
  - ※基調判断は維持

#### 鉱工業生産指数

#### 四半期ベース

(平成22年=100、季節調整済)

		指数	前期比(%)
平成26年	Ⅱ期	98.8	▲ 3.0
	Ⅲ期	97.4	<b>▲</b> 1.4
	Ⅳ期	98.2	0.8
平成27年	I期	99.7	1.5
	Ⅱ期	98.2	<b>▲</b> 1.5
	Ⅲ期	(99.9)	(1.7)

#### (注)

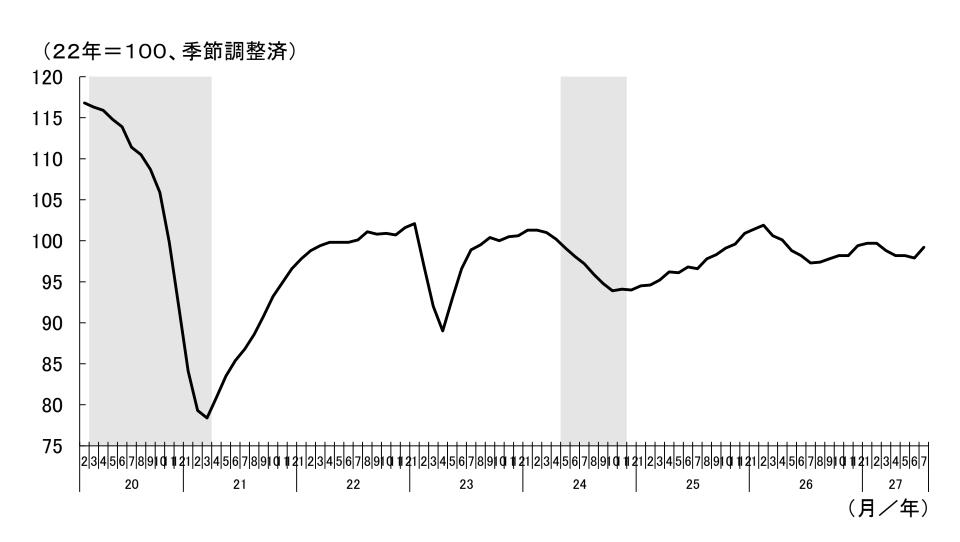
上記の平成27年Ⅲ期の()及び右表の平成27年6月、7月の()内の数字は、製造工業生産予測指数の伸び率をそのまま鉱工業生産指数の最新月に適用して、機械的に計算したものである。製造工業生産予測指数は、鉱工業指数の対象のうち一部の企業に対して、今後の生産計画を調査したもの。

#### 月次(3か月移動平均値)ベース

(平成22年=100、季節調整済)

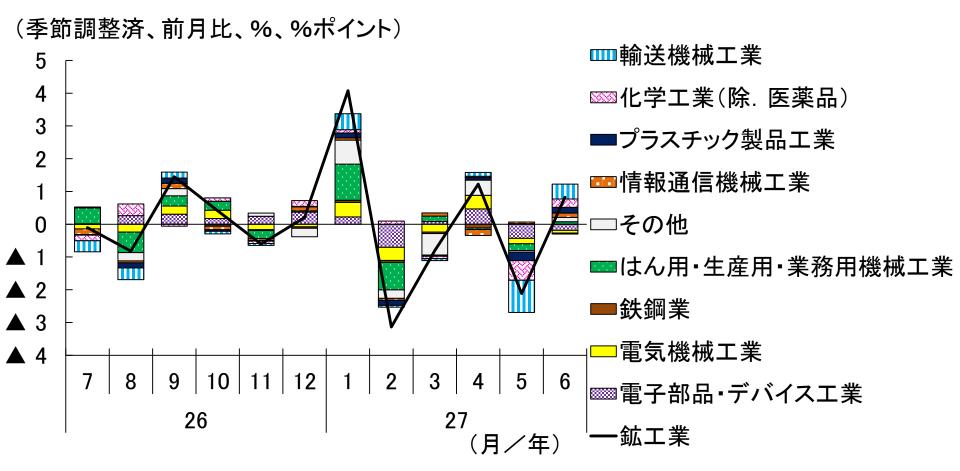
		指数	前月比 (%)
平成25年	7月	96.6	▲ 0.2
	8月	97.8	1.2
	9月	98.3	0.5
	10月	99.1	0.8
	11月	99.6	0.5
	12月	100.9	1.3
平成26年	1月	101.4	0.5
	2月	101.9	0.5
	3月	100.6	<b>▲</b> 1.3
	4月	100.1	<b>▲</b> 0.5
	5月	98.8	<b>▲</b> 1.3
	6月	98.2	<b>▲</b> 0.6
	7月	97.3	<b>▲</b> 0.9
	8月	97.4	0.1
	9月	97.8	0.4
	10月	98.2	0.4
	11月	98.2	0.0
	12月	99.4	1.2
平成27年	1月	99.7	0.3
	2月	99.7	0.0
	3月	98.8	<b>▲</b> 0.9
	4月	98.2	<b>▲</b> 0.6
	5月	98.2	0.0
	6月	(97.9)	$(\blacktriangle0.3)$
	7月	(99.2)	(1.3)

### 参考:鉱工業生産指数(3か月移動平均値)の動向



### 鉱工業生産への業種別寄与度分解

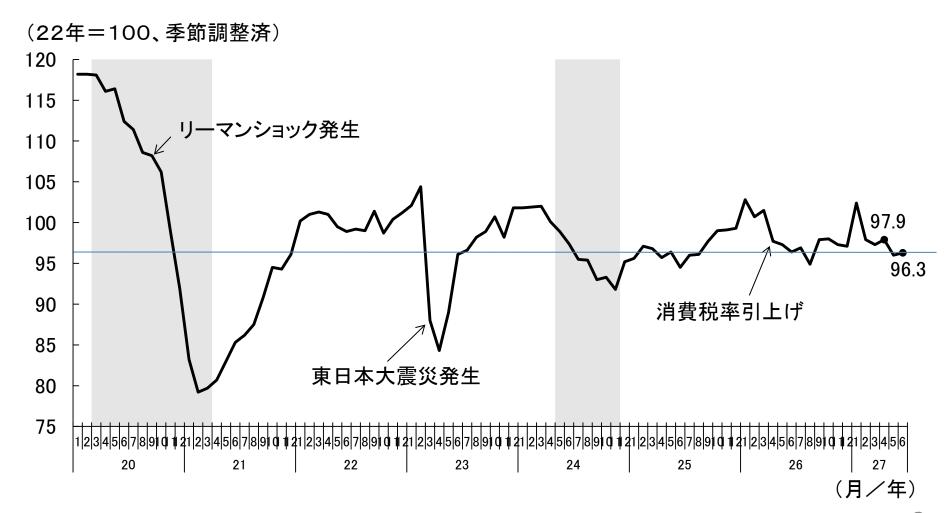
 平成27年6月の生産指数(前月比、季節調整済)は、輸送機械工業などが 上昇したため、前月比0.8%の上昇。



注:その他には、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、 繊維工業、食料品・たばこ工業、その他工業、鉱業が含まれる。

### 鉱工業出荷指数の動向

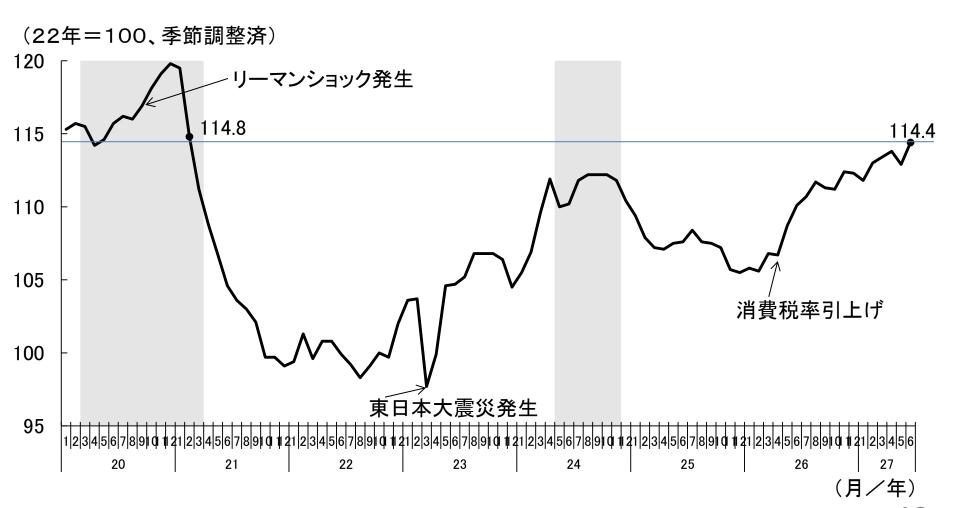
- 平成27年6月の出荷指数は96.3(前月比0.3%)と2か月ぶりの上昇。
- 平成27年4月の97.9以来の指数水準。



### 鉱工業在庫指数の動向

- 平成27年6月の在庫指数は114.4(前月比1.3%)と2か月ぶりの上昇。
- 平成21年2月の114.8以来の指数水準。

(注)シャドー部分は景気後退局面。24年5月~11月は暫定。



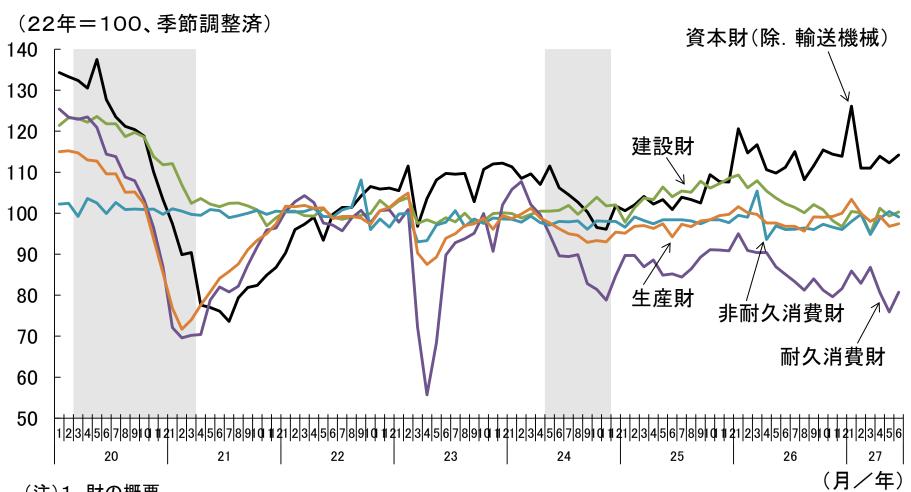
### 鉱工業在庫率指数の動向

- 平成27年6月の在庫率指数は113.5(前月比▲1.6%)と2か月ぶりの低下。
- 平成27年4月の113.2以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済) 160 150 140 130 120 113.5 110 100 マンショック発生 東日本大震災発生 消費税率引上げ 90 20 21 22 23 25 26 24 (月/年)

(注)シャドー部分は景気後退局面。24年5月~11月は暫定。

### 財別出荷指数の動向



- (注)1. 財の概要
  - ・資本財(除. 輸送機械):クレーンや金属工作機械など設備投資に向けられる製品

  - ・建設財:鉄骨やセメントなど建設投資に向けられる製品 ・耐久消費財:テレビや電気冷蔵庫など家計で購入される製品

  - 2. シャドー部分は景気後退局面。24年5月~11月は暫定。

### 平成27年4~6月期(速報)各指数の状況

### 生産・出荷・在庫・在庫率指数

四半期	生産	出荷	在庫(期末)	在庫率
季調済指数	98.2	96.7	114.4	114.0
前期比	<b>▲</b> 1.5%	<b>2.5%</b>	0.9%	1.5%
指数水準	H26.IV 98.2%以来 (超)H26.II 97.4%以来	H26.皿 96.6以来	<b>22年基準 V</b> H20. <b>IV</b> 119.8以来	IV H24.IV 117.7以来
	①H21. I 79.3 ②H21. II 83.5 ③H21. III 88.6	①H21. I 80.7 ②H21. II 83.0 ③H21. III 88.2	I H20.IV 119.8 II H20.II 116.9 III H20.II 115.7	I H21. I 150.7 II H21. II 132.4 III H20.IV 123.8
前期比の動き	3期ぶり▲ (H26.Ⅲ以来)	3期ぶり▲ (H26.Ⅲ以来)	6期連続+ (H26. I ~当期)	2期ぶり+ (H26.IV以来)
			・直近で6期連続+ 【H2.Ⅲ~ 3.Ⅳ】	
			・直近で6期を超える連続+ 8期連続+ 【S54.Ⅲ~56.Ⅱ】	
前期比幅	H26.Ⅱ ▲3.0以来	H26.Ⅱ ▲4.5以来	H27. I 1.0%以来	H26.Ⅲ 4.1%以来
	①H21. I ▲20.5 ②H20.IV ▲9.7 ③H23. II ▲4.1	①H21. I ▲18.5 ②H20.IV ▲9.5 ③H23. II ▲8.6	I Н23. П 7.2% П Н24. I 4.9% Ш Н26. П 3.1%	I H21. I 21.7% П H20.IV 18.1% Ш H23. П 10.5%
前年同期比(原指数)	▲ 0.6%	▲ 0.4%	3.9%	4.8%
前年同期比の動き	4期連続▲ (H26.Ⅲ~当期)	4期連続▲ (H26.Ⅲ~当期)	5期連続+ (H26.Ⅱ~当期)	5期連続+ (H26.Ⅱ~当期)
	・直近で4期連続▲ (H24.Ⅲ~25.Ⅱ)	- 直近で4期連続▲ (H24.Ⅲ~25.Ⅱ)	・直近で5期以上連続+ 7期連続+ (H23.Ⅱ~24.Ⅳ)	・直近で5期連続+ (H23. I ~24. I)
	・直近で4期を超える連続▲ 6期連続▲ (H20.Ⅲ~21.Ⅳ)	・直近で4期を超える連続▲ 6期連続▲ (H20.Ⅲ~21.Ⅳ)	(1125. II + 24.10)	・直近で5期を超える連続+ 10期連続+ (H19.Ⅱ~21.Ⅲ)
前年同期比幅	H27. I ▲2.1%以来	H27. I ▲2.4%以来	H27. I 6.2%以来	H27. I 8.8%以来
	①H21. I ▲33.2% ②H21. II ▲27.3% ③H21. III ▲19.7%	①H21. I ▲33.1% ②H21. II ▲27.7% ③H21. III ▲19.2%	I Н24. I 12.1% II Н23.Ш 8.1% III Н26.IV 6.2%	I H21. I 56.2% П H21. П 35.6% Ш H23. П 16.5%

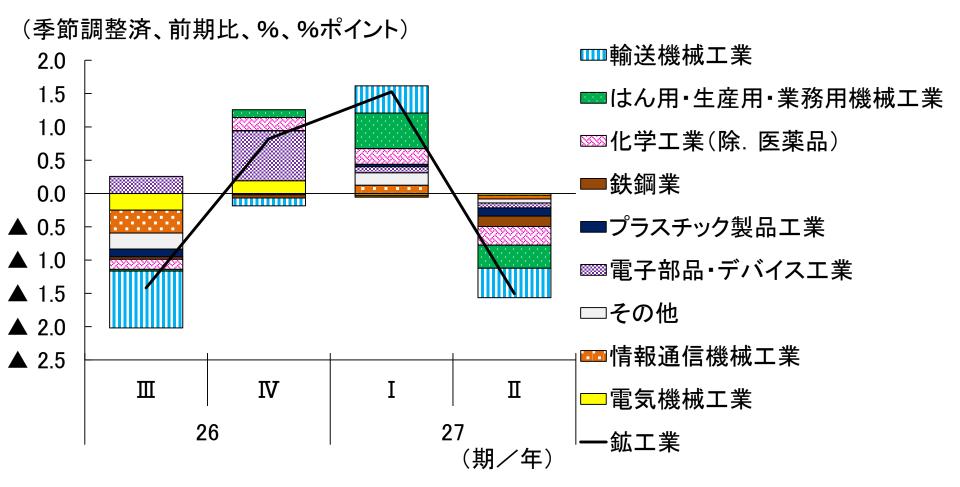
<sup>1) ▲</sup>はマイナス

<sup>2)</sup> ローマ数字のデータは22年基準における最大値からのもの、〇数字は最小値からのもの

<sup>3) 【 】</sup>内は平成22年基準以外

### 鉱工業生産への業種別寄与度分解

平成27年4~6月の生産指数(前月比、季節調整済)は、輸送機械工業などが低下したため、前期比▲1.5%の低下。



注:その他には、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、 繊維工業、食料品・たばこ工業、その他工業、鉱業が含まれる。

### 鉱工業の在庫循環図

